



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社 エンプラス 上場取引所 東
 コード番号 6961 URL http://www.enplas.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画管理本部 (氏名) 星野 清孝 TEL 048-253-3131
 グループサービスセンター長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,960	80.6	4,093	389.6	4,211	421.2	3,206	440.4
25年3月期第1四半期	6,068	31.9	836	—	808	—	593	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,562百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 171百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	222.20	218.51
25年3月期第1四半期	42.16	41.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	42,223	37,110	87.6	2,553.19
25年3月期	38,661	33,645	86.6	2,328.03

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 36,984百万円 25年3月期 33,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	60.2	7,000	232.5	7,000	236.4	5,200	221.6	360.35
通期	40,000	52.4	13,000	185.4	13,000	163.6	9,500	68.6	658.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	20,232,897株	25年3月期	20,232,897株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	5,747,233株	25年3月期	5,848,946株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	14,430,441株	25年3月期1Q	14,071,970株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成25年7月30日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州で深刻な内需の低迷による景気後退が長期化したことに加え、中国をはじめとする新興国も景気減速の兆しが明らかとなりました。一方で米国経済は、住宅市況の底入れを契機に、株価の上昇、大型車を中心とする自動車販売の増加など着実に回復しました。

わが国経済は、政府や日銀の政策効果、円安、株高に加え、堅調な米国経済に支えられて輸出や生産が上向き、景気の持ち直しが鮮明となりました。

当社グループが関連する電子部品業界におきましては、半導体関連は世界的に市場が緩やかに回復、自動車販売も米国を中心に伸長し、LED光源液晶テレビの需要も低コスト化のニーズの高まりとともに引き続き伸長しました。

このような状況の中、当社グループは、基幹事業であるエンプラ事業は収益性の向上、成長市場であるアジアでの受注強化、半導体機器事業は新しいソリューションの創出、グローバル顧客サポート体制の拡充、オプト事業ではLED用拡散レンズの拡販によるディスプレイ業界における確固たる地位の確立を目指すべく、①新製品・新領域への挑戦による成長の実現 ②強い事業、持続可能な事業の裏付けとなる要素技術及び技術理論の確立を目指した先端技術の追求 ③グローバルベースで迅速で効果的な経営判断を可能とするグローバル経営基盤の強化を今期の経営課題と捉え積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の連結売上高は10,960百万円（前年同期比80.6%増）となり、収益面におきましても、連結営業利益は4,093百万円（前年同期比389.6%増）、為替差益による利益の押し上げにより連結経常利益は4,211百万円（前年同期比421.2%増）となり、連結四半期純利益は3,206百万円（前年同期比440.4%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「エンプラ事業」

当社主力製品であるプリンター用部品及び自動車用部品は、米国、アジアにおいて堅調に推移しました。特に、景気回復の追い風の下、米国での自動車部品販売が増加しました。受注増加による操業度の向上と国内及び海外での継続的なコスト低減活動による原価低減効果もあり、当第1四半期の連結売上高は3,037百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント営業利益は146百万円（前年同期は86百万円のセグメント営業損失）となりました。

「半導体機器事業」

世界的な半導体市場の回復基調の下、車載、CPU向けバーンインソケットの受注が増加しました。これに継続的な海外調達拡大と円安効果による原価低減も加わり、当第1四半期の連結売上高は1,698百万円（前年同期比27.0%増）、セグメント営業利益は347百万円（前年同期比160.7%増）となりました。

「オプト事業」

主力のLED用拡散レンズは、引き続き、LED光源液晶テレビの中でもコストメリットのある光源直下型タイプの採用が進んだことにより、当社レンズの販売も増加しました。この結果、当第1四半期の連結売上高は6,224百万円（前年同期比223.1%増）、セグメント営業利益は3,600百万円（前年同期比355.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は42,223百万円となり、前連結会計年度末比3,561百万円の増加となりました。流動資産につきましては3,386百万円増加しました。主な変動要因は現金及び預金で1,724百万円、受取手形及び売掛金で1,003百万円、有価証券で800百万円増加したことによるものです。固定資産につきましては175百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で81百万円、投資その他の資産で102百万円増加したことによるものです。

負債は5,112百万円となり、前連結会計年度末比で96百万円の増加となりました。流動負債につきましては92百万円増加しました。主な変動要因は賞与引当金が190百万円、役員賞与引当金が97百万円、未払法人税等が125百万円減少したものの、買掛金が161百万円、その他流動負債が344百万円増加したことによるものです。固定負債につきましては4百万円増加しました。主な変動要因は長期借入金で49百万円減少したものの、その他固定負債で52百万円増加したことによるものです。

純資産は37,110百万円となり、前連結会計年度末比3,465百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で2,918百万円、為替換算調整勘定で332百万円増加したことによるものです。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は87.6%となり、前連結会計年度末比で1.0%増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、需要の回復及び為替の円安進行等により各事業で業績が堅調に推移し、特にオプト事業において、売上が想定以上に伸びていることから、第2四半期連結累計期間及び通期の売上、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前予想（平成25年4月30日）を上回る見込みである為、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年7月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,388,873	15,113,146
受取手形及び売掛金	6,267,226	7,271,007
有価証券	2,999,973	3,800,000
製品	609,385	696,180
仕掛品	619,655	540,017
原材料及び貯蔵品	583,387	601,468
その他	2,705,454	2,538,606
貸倒引当金	△7,210	△7,373
流動資産合計	27,166,745	30,553,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,533,947	3,530,334
機械装置及び運搬具（純額）	2,572,232	2,756,269
土地	2,692,924	2,697,176
その他（純額）	1,444,558	1,341,154
有形固定資産合計	10,243,663	10,324,934
無形固定資産		
ソフトウェア	492,505	458,131
その他	59,472	85,430
無形固定資産合計	551,977	543,561
投資その他の資産	699,082	801,756
固定資産合計	11,494,723	11,670,252
資産合計	38,661,469	42,223,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,560,338	1,722,266
1年内返済予定の長期借入金	199,992	199,992
未払法人税等	645,004	519,104
賞与引当金	422,432	231,634
役員賞与引当金	135,749	38,152
その他	1,496,161	1,840,584
流動負債合計	4,459,678	4,551,734
固定負債		
長期借入金	500,020	450,022
退職給付引当金	10,425	11,068
役員退職慰労引当金	14,677	15,785
その他	31,458	84,271
固定負債合計	556,581	561,147
負債合計	5,016,259	5,112,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,190,269	10,271,931
利益剰余金	24,069,974	26,988,718
自己株式	△8,361,816	△8,217,383
株主資本合計	33,978,882	37,123,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,583	75,018
為替換算調整勘定	△546,152	△214,067
その他の包括利益累計額合計	△492,568	△139,049
新株予約権	132,664	98,590
少数株主持分	26,231	27,162
純資産合計	33,645,209	37,110,424
負債純資産合計	38,661,469	42,223,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,068,040	10,960,674
売上原価	3,581,640	4,827,337
売上総利益	2,486,400	6,133,337
販売費及び一般管理費	1,650,187	2,039,341
営業利益	836,212	4,093,996
営業外収益		
受取利息	8,234	5,981
受取配当金	7,000	7,177
為替差益	—	51,215
スクラップ売却益	24,097	45,450
その他	20,838	18,714
営業外収益合計	60,170	128,539
営業外費用		
固定資産賃貸費用	6,079	6,279
為替差損	79,914	—
その他	2,229	4,457
営業外費用合計	88,223	10,737
経常利益	808,159	4,211,798
特別利益		
固定資産売却益	1,780	9,751
特別利益合計	1,780	9,751
特別損失		
固定資産売却損	590	878
特別損失合計	590	878
税金等調整前四半期純利益	809,349	4,220,671
法人税、住民税及び事業税	192,280	631,110
法人税等調整額	23,356	382,058
法人税等合計	215,637	1,013,169
少数株主損益調整前四半期純利益	593,711	3,207,502
少数株主利益	372	1,079
四半期純利益	593,339	3,206,423

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	593,711	3,207,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,691	21,434
為替換算調整勘定	△376,118	333,376
その他の包括利益合計	△421,810	354,811
四半期包括利益	171,901	3,562,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,628	3,559,942
少数株主に係る四半期包括利益	△727	2,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。